

# あたまみ 市議会だより

第50号  
令和4年  
5月10日

- P 2～8 令和4年2月定例会  
質疑および一般質問（要旨）
- P 8 議会のはてな？
- P 9 令和4年2月定例会 議決結果
- P 10 討論 委員長報告
- P 11 伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会  
調査経過を報告します
- P 12 議会からの報告・お知らせ  
令和4年6月定例会の主な日程



## 令和4年2月定例会について

2月定例会は、2月22日から3月16日まで23日間の会期で開催し、議案27件、報告4件、同意1件、発議案3件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：姫の沢公園のツツジ

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

Email [gikai@city.atami.shizuoka.jp](mailto:gikai@city.atami.shizuoka.jp)

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

熱海市議会







たかはし ゆきお  
高橋幸雄 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会  
広域行政推進特別委員会  
(副委員長)

その他の質問項目

- 伊豆山港の休憩施設について
- 災害義援金について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



議案第18号 熱海市伊豆山土石流災害に伴う固定資産税及び  
都市計画税の減免の臨時特例に関する条例」について  
伊豆山土石流災害について

【質問】 固定資産税・都市計画税の減免は、令和4年度だけでなく、継続して適用することができないか。

【答弁】 減免要件の前提として、長期避難世帯の認定及び警戒区域の設定が継続する場合、課税免除の特例を継続すべきものと考えているが、その対応を判断していく。

【質問】 固定資産税・都市計画税の減免は、令和4年度だけでなく、継続して適用することができないか。

【答弁】 減免要件の前提として、長期避難世帯の認定及び警戒区域の設定が継続する場合、課税免除の特例を継続すべきものと考えているが、その対応を判断していく。

【質問】 伊豆山港の休憩施設について

【答弁】 仮設ブロック堰堤①は、12月2日に設置を完了し、既設堰堤の除石作業は12月23日に完了している。仮設ブロック堰堤②については、施工性等から設置を取りやめ、9月に設置していたネットロール土のうを転用移設し、2月16日に完了している。新設堰堤の設置については、3月中旬頃より掘削工事、4月よりコンクリート打設工事を進める予定となっている。工事は、当初スケジュールを少しでも前倒して進めるよう尽力していただいております。令和4年度中の完成を目標に進めていただいている。

熱海ヒルクライムレース開催について  
来宮浄水場について

【質問】 富士吉田市で開催されている「マウント富士ヒルクライム」という自転車のレースがある。過去18回の歴史があり、参加人数13,000人、経済効果は3億円以上のことである。そこで、平地が少なく坂道が多い本市の地理的弱点を逆に最大限生かせる、ヒルクライムの本市での開催を提案する。

【答弁】 本市や伊豆地域が舞台となるレースが開催されることは、ロードレーサーのみならず応援の方々の多くの来訪につながり、観光消費も期待できるものと考えている。一方で道路の占用や規制ができるのか、コース沿線の町内等の理解が得られるのかなど、課題がいくつあるかと感じているので、その解消が前提になると思っている。

【質問】 仕様書発注による市内建設業者への一括方式について見解を。泉浄水場の更新では仕様書発注で膜ろ過設備を発注しており、あえて※デザインビルド発注でなくても満足する設備を建設することは可能であり、地元産業の育成と活性化につながる。また、敷地内を更地にして工事を行うことが、工期を短縮でき一番望ましい。しかし、県水を利用するため支出が増える。安心安全を優先するか、財政負担を重視するか重要な決定となるが、今一度検討を。

【答弁】 安全安心、財政負担などを総合的に判断し、進めてまいりたい。



たなか ひでたか  
田中秀宝 議員

自民党・公明党・女性の会  
熱海梁山泊  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
(委員長)

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 令和4年度熱海市一般会計予算
- 令和4年度熱海市国民健康保険事業特別会計予算

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



※ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

# 質 疑 一 般 質 問



こ さ か さ ち え  
小坂幸枝 議員

日本共産党  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
公共施設整備等特別委員会

## 伊豆山土石流災害について — 危機管理は適切だったか —

【質問】本市に大雨警報が発令されたとき、行政はどのような対応をとったか。

【答弁】7月2日の6時29分に気象庁より本市に大雨警報が出され、8時45分に市長、副市長、消防長と協議し10時に高齢者等避難（警戒レベル3）を発令。市内3か所（南熱海支所、中央公民館、泉小中学校）に避難所を開設。同報無線、メールマガジン、ツイッターなどで避難行動を呼びかけた。

【質問】本市に大雨警報が発令されたとき、行政はどのような方針を立てたか。

【答弁】7月2日10時30分に臨時部長会議を開き、事前配備の職員で当直し、24時間即時対応が可能な体制をとった。

【質問】7月2日時点では災害対策本部は設置されなかったのか。

【答弁】災害対策本部を設置していない。

【質問】逢初川上流部の盛土については、過去に何度も不法投棄や法面崩壊・下流域での濁水被害等があり、その都度行政は是正措置を行ってきた。しかし改善がみられなかった。

2010年10月8日付の盛土の前所有者に出した文書の中には、この盛土が崩壊すると逢初川水域の住民の命と財産に危険を及ぼす可能性があることが記載されている。このような危機感の認識は危機管理課の中では共有されていたか。

【答弁】大規模崩壊を起す可能性があるとの認識はなかった。

【要望】これまでの経緯を踏まえた崩壊する恐れは十分すぎるほどあるが、この危機感の欠如が重大な問題。しっかりと検証してほしい。

### その他の質問項目

■ 自宅療養中のコロナ感染者への支援は ■ おたふくかぜの合併症と予防接種

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## 小中学校教員の定数と働き方改革の状態について 本市の財政の現状について



や ま だ は る お  
山田治雄 議員

熱海市民クラブ  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
公共施設整備等特別委員会

【質問】小中学校教員の定数は学級数に応じて決められていると聞いていますが、実際はどのように決められるのか。また、定数はすべて正規の教員が配置されているか。各学校には教員不足から臨時の教員が配置されていると聞いている。国も教員不足を認めているが本市ではどうか。今、学習支援員が市の負担で配置されているが、義務教育の要員は国・県によって充足すべきものがなぜ市の負担によるのか。

【答弁】教員の各校の定数は、静岡県教育委員会職員等定数条例において、学級数を基に定めている。教員が全て正規教員によって充足されているかについては、県の職員で充足されている。学習支援員については、児童生徒への個に応じた学習支援が必要となることから、

市当局の理解により各小中学校に配置をしている。

【質問】市の財政の現状は、令和2年初め頃からコロナの発生に伴い観光客の激減により市内経済に大打撃。この再生に市はかなり多くの財政支出。そして伊豆山土石流災害復旧・復興に大きな財政支出を見込み、市の貯金という財政調整基金の大幅な取り崩しによることとなり、令和3年度と比べ令和4年度には12億8,000万円も減るが、市の財政は本当に心配なのか。

【答弁】現状は極めて厳しい状況だが、災害対応を優先しつつ、市民の皆様にはできる限りご不便をかけない事業実施を心掛け、状況に応じた基金の取り崩しなど、できる限り計画的に進めていかなければならないものと考えている。

### その他の質問項目

■ 会計年度任用職員の処遇改善に関する打ち合わせは  
■ 県土採取等規制制度

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから







たけべ たかし  
竹部 隆 議員

熱海成風会  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 新型コロナウイルス感染症  
自宅療養者への食料等支援
- 高齢者の外出支援政策

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



復興まちづくり計画策定業務委託他について  
障がい児・者政策への本市の取組について

〔質問〕伊豆山土石流  
災害区域の復興・復旧  
計画の計画策定業務委  
託を令和3年度から始  
めたが、成果はいつで  
きるのか。災害による  
被災者の家賃補助はい  
つまで行うのか。

〔答弁〕第1回検討委  
員会を2月25日に開催  
した。計画内容につい  
て意見をいただきなが  
ら、令和4年度の早い  
時期に基本計画を策定  
し、その後復興まちづ  
くり計画は夏を目的に  
策定したい。これらの  
計画に基づき復興事業  
に着手していく。家賃  
補助は令和5年8月ま

でだが、それまでにす  
べての施設整備を終わ  
らせるのは困難なので、  
国や県と相談して被災  
者の皆様に負担が生じ  
ないよう進めていきた  
い。

〔質問〕本市の障がい  
児・者政策への取組に  
ついて。

〔答弁〕市の障がい児  
者に対する位置づけと  
して、陽光の園につい  
ては生活介護事業所と  
して地域資源が少ない  
本市にとって障害を持  
つ人々を支援する施設  
の一翼を担っている施  
設との認識。国の施設  
改修補助を受ける場合

にはサービスの拡充が  
計画されていないと採  
択は難しい。事業所ご  
とに課題認識が様々で  
あり、現時点での単独  
補助制度の創設の検討  
は行っていない。まず  
は各事業所より施設運  
営の問題点等を市へ話  
してもらい、そのうえ  
で市として応えられる  
支援策等を提案してい  
きたいと考えている。

※ワーケーション施設等環境整備促進事業費補助金について  
火葬場について

〔質問〕公民館を※ワー  
ケーションスペースとして  
も有効活用することができ  
たら、リフォームをして企  
業や個人に使用してもらえ  
ば地域の活性化にもつな  
がる。そのような活用の仕  
方に「※ワーケーション施設  
等環境整備促進事業費補助  
金」を利用できないか。

〔答弁〕右記のアイデア  
は地域住民との協働による  
様々な活用が期待できる。  
認可地縁団体である町内会  
が自ら所有もしくは賃貸し  
た物件において事業を行う  
場合は、補助の対象者とな  
る。

〔質問〕近年、家族葬など  
少人数による葬儀が定着し  
つつあり、葬儀事情に変化  
がみられる。また、冬場に  
おける葬祭場までの交通事  
情なども鑑みて、葬祭施設  
の広域利用、並びに葬祭業

務の管理運営方法の見直し  
の検討を進める必要がある  
のではないかと。

〔答弁〕県境である本市は  
県を跨ぐ広域的な対応が必  
要と考え、湯河原町、真鶴  
町と火葬場施設の相互利用  
について協議を進めている。  
また、本市の火葬場は山間  
部にあり、降雪時には道路  
が通行止めになり施設の利  
用が不可能になることもあ  
る。降雪前の次善の策を心  
がける。さらに火葬場、霊  
柩車の管理運営方法につい  
て、きめ細かいサービスの  
提供のために専門性を備え  
る民間の力を取り入れるこ  
とは、前向きに検討すべき  
事項と考えている。

〔質問〕近年、家族葬など  
少人数による葬儀が定着し  
つつあり、葬儀事情に変化  
がみられる。また、冬場に  
おける葬祭場までの交通事  
情なども鑑みて、葬祭施設  
の広域利用、並びに葬祭業



せんみょうじ  
泉明寺みずほ 議員

自民党・公明党・女性の会  
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会

(副委員長)

広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 伊豆山土石流災害について
- 教育政策について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



# 質 疑 一 般 質 問



はしもとかずみ  
**橋本一実** 議員

熱海市民クラブ  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
(委員長)  
広域行政推進特別委員会

## その他の質問項目

■企業向け観光ブランドプロモーション ■キキクルの情報軽視について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



**施政方針の中で、土石流災害に対して「責任」や「反省」という言葉は見当たらないが、市長は行政の責任をどのように感じているのか。反省すべきこととはないのか。**

〔質問〕 施政方針の説明で齊藤市長から「反省」や「責任」という言葉を聞くことができなかったことに非常に残念な思いを感じた。今回の土石流災害で、「違法な盛土」の実行行為者や当時の土地所有者、また中途半端な状態で赤井谷を長年放置した現所有者の責任は極めて重大だと認識しているが、それだけではなくあの行為をなぜ許したか、明らかに危険であると認識していたのに結果的に見過ごした行政の責任を市長はどう感じているのか、反省すべきことや

〔質問〕 令和4年度に実行に移す事項は一つも無いのか。これを表明すべきではないか。

〔質問〕 正案に反映された。これで新たに土砂が投棄されやすい現状について改善の方向が見えてきた。行政の「責任」については、当事者たる行政自身が判断するべきものではないと考える。現在、静岡県の原因究明の為の行政対応検討委員会、熱海市議会の伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会において検証が行われていることから、この検証に誠実に協力することが使命であり、最終的には司法の判断を仰ぐものであると考える。

〔質問〕 令和4年度に実行に移す事項は一つも無いのか。これを表明すべきではないか。

〔質問〕 正案に反映された。これで新たに土砂が投棄されやすい現状について改善の方向が見えてきた。行政の「責任」については、当事者たる行政自身が判断するべきものではないと考える。現在、静岡県の原因究明の為の行政対応検討委員会、熱海市議会の伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会において検証が行われていることから、この検証に誠実に協力することが使命であり、最終的には司法の判断を仰ぐものであると考える。

## 新しい資本主義の柱として※NFTを活用して本市の復旧・復興を図れないか/2025年大阪万博に向け、ブルネイ・ダルサラーム国との観光と経済対策を図れないか



むらやまけんぞう  
**村山憲三** 議員

熱海市政調査会  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
広域行政推進特別委員会

## その他の質問項目

■地方創生プロジェクトの進行・加速化に向け、人口増加策と集客が望める商業施設

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



〔質問〕 自民党の平将明議員が「新しい資本主義」の柱として、※NFT政策検討プロジェクトチームの座長に就任した。これは、※NFTや※ブロックチェーンを成長戦略と位置づけ、税制改正提案も視野に進めている。このシステムが本市の財政再建と今後の復旧、復興に向けて大きな鍵を握ると思うが、市はどのように考えるか。

〔質問〕 改ざんが出来ず、手続等の真正性が担保でき、真贋証明が可能な※ブロックチェーンは、行政手続のオンライン化と親和性が高いものと考えられ、将来的に行政事務の効率化にも大きく寄与する可能性が期待される。※NFTについては、暗号資産を地域通貨として活用することや、その汎用性については、将来的な可能性が十分あると考える。

〔質問〕 2025年4月に開催予定の「大阪万博」に、本市も東京オリンピック・パラリンピックでホストタウン締結をしたブルネイ・ダルサラーム国との観光と経済促進を視野に入れて参加する方針のようだが、具体的な戦略があれば答えてほしい。

〔質問〕 国家イベントである万博の機運醸成を図るとともに、日本全体の発展を担うことを目的とする「万博首長会議」に本市も参画し、ホストタウン交流を進めるブルネイ・ダルサラーム国のほか、※インバウンド旅行回復により誘客が期待できる地域などの需要を獲得するための官民協働を目標していきたいと考えている。





ごとう ゆういち 議員  
後藤 雄一

自民党・公明党・女性の会  
熱海梁山泊  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
公共施設整備等特別委員会  
(副委員長)

その他の質問項目

- 観光戦略策定・推進経費
- 市民教室（高齢者向けスマホ教室）事業

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



参議院議員選挙費について

熱海駅前広場等の管理経費について

【質問】 前回の選挙後に、投票所など改善すべきことの検討はされたのか。また、昨年の伊豆山土石流災害後に伊豆山地区の投票所で何か対応すべきことがあったか。

【答弁】 令和元年7月執行の参議院議員選挙から移動期日前投票所を試験的に実施。市内山間地域に所在する県営七尾団地、南熱海地区の市営中野団地の2か所で路線バス（ノンステップバス）を移動期日前投票所として利用している。今後は設置場所や設置時期など

の改善点等を捉え効果などを検証する。なお、令和3年6月の県知事選挙から南熱海支所の期日前投票日数を2日間に増やした。また災害により伊豆山浜会館投票所の有権者の方で立ち入り禁止区域を通行しないと投票に向かうことが困難な方々がおられたことから、選挙当日午前と午後

各1回市のワゴン車を利用して浜会館への送迎を行った。今後も柔軟に対応したい。

【質問】 駅前広場の足湯、タクシー乗り場付近の照明について。駅

利用者から駅前が暗いとの指摘がある。防犯灯の増設を考えられないか。

【答弁】 電車・バスの運行時間に合わせ点灯、一部消灯している影響もあるが、特に歩行者動線上の明るさを再度確認する必要があると思う。今後利用者の状況等を踏まえ点灯時間の延長、照明灯の増設などを考える。

【要望】 安心安全な観光地熱海としての改善に努めて。

子育てしやすいまちづくりについて

【質問】 静岡県の0歳から14歳の年少人口の割合は12.0%、本市は5.75%で県内35市町中最少。齊藤市長が初当選された平成18年の熱海の出生数は208人、令和3年は85人。この15年間で123人、59%減少し大変危機的な状況。年少人口を増やすには子育てしやすい環境、市のサポートが必要。市は新年度、新しい施策を打ち出したのか。

【答弁】 令和3年度からの新規事業は、「結婚新生活支援補助金」、3人以上の多子世帯支援として「就学支援事業費及び放課後児童クラブ利用料に対する助成」を開始した。

【質問】 保護者の皆さんが「日常子育てで悩んでいること」の第1位は「お金がかかること」。私は多子世帯への経済的支援を訴え、

やっと前進したが更なる支援を要望する。そして子育て支援で一番の要望は、「子連れでも出かけやすい」。市の取組は。

【答弁】 子どもの遊び場の充実、居場所づくりとあわせた検討を進めたい。

【質問】 市長は4期目の所信表明で「就学前保育・教育の完全無償化に向け取り組む」と訴えた。市の取組は。

【答弁】 議員ご提案の3、5歳児を対象とした、給食費の先行無償化を実施しており、当面の間はこの取組を継続し保護者の経済的負担軽減とあわせ、少子化対策にもつなげていきたい。



いなむら ちひろ 議員  
稲村 千尋

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会  
(副委員長)  
公共施設整備等特別委員会  
(委員長)

その他の質問項目

- 高齢者施策について
- 地域経済活性化対策経費について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



※ 〃で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

# 質 疑 一 般 質 問



かわぐち たけし  
川口 健 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会  
広域行政推進特別委員会  
(委員長)

## 伊豆山土石流災害の検証について

### その他の質問項目

■今後の水道料金 ■コロナ禍における経済対策

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



**【質問】** 伊豆山の災害対応、7月1日から7月3日までの本市の積算雨量と土砂災害の危険度指標「キキクル」の7月2日22時から7月3日10時までの状況は。また、高齢者避難指示を出した時間と理由、避難指示を出さなかった理由は。

**【答弁】** 7月1日から3日の本市の積算雨量は411.5mm、7月2日22時から3日10時までは、極めて危険な状態の濃い紫色が市内の広い範囲に出現したとの報告を7月3日7時頃、危機管理監から受け、共有。高齢者等

避難は大雨警報と土砂災害警戒情報があり、2日10時に発令。避難指示を発令しなかった理由は、市内全域に極めて危険な状態が出現している状況にあるが、静岡地方気象台から今後、雨量が弱まり小康状態との情報が得られ、民間気象情報にも同様の情報があつたため。

**【要望】** 本市の7月1カ月の平均降水量は242.5mm。7月1日から3日は県内の複数の地点で降水量の観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨。7月1・2日の2日間雨量で7月1カ

月分を超え、アメダスでは伊豆山地区は更にその30%多くなつており、7月平均の2倍以上の雨が3日間で降る、キキクルでも「極めて危険」な状況が続いた。避難指示を出してほしかった、なんて出してくれなかったという市民の声がある。こつという状況なのに、避難指示はなぜ出さなかったのか。「極めて危険」な状況でも避難指示を出さなかった、そして大勢の犠牲者が出たことの検証が必要である。

## 伊豆山土石流災害からの復旧・復興について ※伊豆山ささえ逢いセンターについて

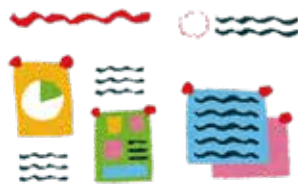


すぎやまとしかつ  
杉山利勝 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会  
公共施設整備等特別委員会



**【質問】** 復興まちづくり計画では、この度第1回復興計画検討委員会が開催された。「伊豆山に戻って仕事をしたい。再出発したい」という思いの方もいる。被害状況の違いがある中で行政は被災者の声が十分届いていたと思うか。

**【答弁】** 被災された世帯ごとに思いや意見があり、声を上げたくても上げられない方もいると伺っている。まだまだ十分とは言えず、負担や迷惑をかけない範囲で個別の意見も伺える機会・方法を考えていく。

**【質問】** 重点見守り世帯が増えていることをどう理解しているか。

**【答弁】** 時間の経過とともに被災者の方々の気持ちも2年後にどう暮らすのかというところに変化している。被災者の心身等継続して見守りながら、関係機関と連携し丁寧な支援を継続していきたい。

**【質問】** 雨漏りの修繕や外壁のひび割れなど明らかに放置することで建物の劣化が進むと考えられる場合、修繕の対応が取れないものか。

**【答弁】** 建物を維持する修繕は必要なものと認識している。応急修繕として、個別の事情を伺いながら対応していきたい。

### その他の質問項目

■地域コミュニティ活動の支援 ■観光地経営の仕組みづくり

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから





よねやまひでお  
**米山秀夫** 議員

自民党・公明党・女性の会  
**熱海梁山泊**  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
広域行政推進特別委員会

### その他の質問項目

■水道事業会計等の財政計画について ■伊豆山土石流災害について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## 起雲閣を中核施設とした文化施設包括的指定管理者制度の導入について／骨髄を提供するドナーの「休暇制度」について

〔質問〕起雲閣とそれ以外の文化施設を含めた指定管理者制度の導入についての説明に齟齬が生じている。何を行おうとするのか説明を求めらる。

〔答弁〕「NPO法人あたまオアシス21による管理運営の評価・実績を踏まえて」との表現については、これまで起雲閣における制度導入の実績とその効果を示したものであり、今回の選定手続きにおいては、本市の制度運用指針に基づき公募で行うこととしている。

〔質問〕(仮称)熱海文学館に指定管理者制度を導入しないのはなぜか。

〔答弁〕現在、杉本苑子先生のご意思を踏まえ、早期の基本計画の策定及び開館に着手したいと考えている。

〔質問〕骨髄を提供するドナーが採取などの際に仕事を休めるようにする「ドナー助成制度」を導入する考えはないか。

〔答弁〕1人でも多くの人が必要な治療を受けられるために、ドナーが骨髄等を提供しやすい環境を整える必

要があると考えており、他市町で導入されている骨髄提供に伴い仕事を休む日数に応じて一定額を支給する助成制度は、より骨髄提供を行う機会や提供者を増やすためにも有効なものであると考えていることから、導入済みの県内他市町を参考に静岡県内の動向も注視しながら、必要な「ドナー助成制度」の導入に向けて準備を進めていきたい。

# 議会の はてな？



## 質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※で表記されている言葉についての説明です。

**P2** **デザインビルド(デザインビルド方式)**

設計と施工を一元化する手法で、設計・施工一括発注方式とも呼ばれる。この方式で工事を実施することで、設計・施工期間の短縮や、コストの削減などが期待できる。

**P4** **ワーケーション**

「ワーク」と「ケーション」から造られた造語。休暇をとりながら働くこと。

**P5** **NFT**

正式名称は Non-Fungible Token (非代替性トークン) で、複製・偽造の不可能な証明書を付与したデジタル資産。

**P5** **ブロックチェーン**

インターネット上の複数のコンピューターで、利用者同士が直接金融取引を行う際の取引データを管理する技術。

**P5** **インバウンド**

海外から訪れた外国人が日本を観光すること。訪日外国人旅行のこと。

**P7** **伊豆山ささえ逢いセンター**

伊豆山土石流災害により被災された方を支援するため、令和3年10月4日に開設。熱海市社会福祉協議会と熱海市が共同で運営し、被災地区の町内会や民生委員などと連携し見守りや困り事の相談などの支援を行う。

【相談受付時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を

除く)

午前9時～午後5時

【お問い合わせ】0557-8616380



## 2月定例会 議決結果(本会議)

### 〈 市長提出の議案等 〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第1号 令和4年度熱海市一般会計予算	可決(多数)	議案第17号 令和4年度熱海市一般会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第2号 令和4年度熱海市国民健康保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第18号 熱海市伊豆山土石流災害に伴う固定資産税及び都市計画税の減免の臨時特例に関する条例	可決(全員)
議案第3号 令和4年度熱海市介護保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第19号 熱海市個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第4号 令和4年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計予算	可決(全員)	議案第20号 熱海市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第5号 令和4年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(全員)	議案第21号 熱海市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第6号 令和4年度熱海市水道事業会計予算	可決(全員)	議案第22号 熱海市立澤田政廣記念美術館条例等の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第7号 令和4年度熱海市下水道事業会計予算	可決(全員)	議案第23号 熱海市旧日向別邸条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第8号 令和4年度熱海市温泉事業会計予算	可決(全員)	議案第24号 熱海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第9号 令和3年度熱海市一般会計補正予算(第9号)	可決(全員)	議案第25号 熱海市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第10号 令和3年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)	議案第26号 熱海市まちづくり条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第11号 令和3年度熱海市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	議案第27号 熱海市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第12号 令和3年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	報告第1号 専決処分の承認について(令和3年度熱海市一般会計補正予算(第7号))	承認(多数)
議案第13号 令和3年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第2号 専決処分の承認について(令和3年度熱海市一般会計補正予算(第8号))	承認(全員)
議案第14号 令和3年度熱海市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第3号 専決処分の承認について(熱海市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について)	承認(全員)
議案第15号 令和3年度熱海市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第4号 専決処分の報告について(市道路施設のかしによる事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第16号 令和3年度熱海市温泉事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)	同意第1号 教育委員会委員の任命について	同意(全員)

### 〈 議員提出の議案等 〉

件名	議決結果	件名	議決結果
発議案第1号 ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議	可決(全員)	発議案第3号 議案第1号 令和4年度熱海市一般会計予算に関する附帯決議	可決 (可否同数のため 議長裁決)
発議案第2号 ウィズ・アフターコロナの切れ目ない観光業支援に関する意見書	可決(全員)	議案第1号 令和4年度熱海市一般会計予算の組換え動議	否決

**議案第1号  
令和4年度熱海市一般会計予算**

**反対** 米山秀夫議員

文化施設に指定管理者制度を導入するにあたり、各部に意見の食い違いが生じている。地方自治法、都市公園法に照らして、教育費に計上されている中山晋平記念館管理運営経費を減額し、土木費へ計上し増額するべき。

**報告第1号 専決処分の承認について  
(令和3年度熱海市一般会計補正予算(第7号))**

**反対** 米山秀夫議員

子育て世帯への臨時特別給付事業について市長の専決で予算執行を行ったが、11月定例会の会期を延長すれば審議できたはず。議会の議決権を侵害した行為であり、この報告を良しとはできない。

**委 員 長 報 告**

**●観光建設公営企業委員会**

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号	否決	疲弊した市内経済への即効性のある経済対策予算がしっかりと組み込まれていないとの意見が出され、否決すべきものと決した。
議案第6号 議案第14号 議案第7号 議案第15号 議案第8号 議案第16号 議案第9号 議案第26号	可決 (全会一致)	議案第9号令和3年度熱海市一般会計補正予算(第9号)のうち歳入について、堆積土砂搬出事業費負担金、堆積土砂埋立事業負担金及び堆積土砂排除事業費補助金等の増額などがされている。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

**●総務福祉教育委員会**

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号 議案第17号 議案第2号 議案第18号 議案第3号 議案第19号 議案第4号 議案第20号 議案第5号 議案第21号 議案第9号 議案第22号 議案第10号 議案第23号 議案第11号 議案第24号 議案第12号 議案第25号 議案第13号 議案第27号	可決 (全会一致)	議案第1号令和4年度熱海市一般会計予算のうち、第4款衛生費について、市民の健康を守り生活環境を保つための重要な経費であり、新型コロナウイルス感染症ワクチンを含めた予防接種経費、小児救急医療体制の維持に必要な経費等を計上した。また、議案第18号熱海市伊豆山土石流災害に伴う固定資産税及び都市計画税の減免の臨時特例に関する条例について、災害対策基本法第63条第1項の規定による警戒区域の設定が継続していること等により、当該地区内の固定資産の使用が困難となっているため、当該固定資産を所有する者の税負担の軽減に関する臨時特例を定めた。他の付託議案とともに必要な措置と認める。
報告第1号	承認 (賛成多数)	子育て世帯等臨時特別支援事業について早急に対応する必要性が生じたことから専決処分したもので、必要な措置と認める。
報告第2号 報告第3号	承認 (全会一致)	報告第3号専決処分の承認について(熱海市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例)について、熱海市災害弔慰金等支給審査委員会を設置することとしたことに伴い、条例について所要の改正をしたもの。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

**●広域行政推進特別委員会**

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号	可決 (全会一致)	各広域行政推進協議会等に係る運営費負担金などが計上されており、必要な措置と認める。



# 伊豆山土石流災害に関する

## 調査特別委員会 調査経過を報告します

令和3年11月5日に設置された伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会は、令和4年4月までに11回開催しました。これまでにどのような調査が行われたのか、概要を報告します。

### ●第1回（令和3年11月5日開催）

委員長、副委員長を選出し、委員長に稲村千尋議員、副委員長に田中秀宝議員が就任しました。

### ●第2回（令和3年11月22日開催）

委員会の持つ調査権の認識を全委員で共有し、委員会の運営方針、調査の進め方を決定しました。

### ●第3回（令和3年12月9日開催）

土木設計が専門で、自治体の災害復興事業に数多く携わる株式会社 Malme 清水浩氏を講師にお迎えし、土石流発生箇所周辺の地形や、土地開発行為に関わる法令とその運用などについてご講義いただきました。



### ●第4回（令和3年12月23日開催）

静岡県と熱海市に対し、既に公開された土地改変行為に関する文書について、黒塗りをせずに全て公開するよう求めることを決定しました。後日、議長から静岡県知事と熱海市長に対し、公開を求める文書が提出されました。

### ●第5回（令和4年2月4日開催）

各委員から提出された、静岡県と熱海市への土地改変行為に関する行政手続に対するの質疑を、議長から静岡県知事及び熱海市長へ提出することを決定しました。また、土石流発生箇所付近の土地改変行為に関係する13名を、参考人として委員会に招致することを決定しました。

### 第6回（令和4年3月3日開催） / 第7回（令和4年3月17日開催） / 第8回（令和4年3月18日開催）

第5回委員会で招致することを決定した参考人13名のうち11名に出席していただき、意見や知り得た事実について述べていただきました。また、新たに12名を参考人として委員会に招致することを決定しました。

#### ◎3日間で出席した参考人

日にち	招致した参考人	どのような人物か
3月3日	5人	伊豆山地区在住の市民、報道機関関係者、静岡県宅地建物取引業協会職員、土石流が発生した土地の取引に関わる不動産業者元代表
3月17日	3人	土石流が発生した土地の隣接分譲地現場下請元従業員、土石流が発生した土地の現所有者の関係人、土石流が発生した土地の前所有者に関係する現場責任者
3月18日	3人	伊豆山地区在住の議員、土木設計専門家、土石流が発生した土地の現所有者元代理人

### ●第9回（令和4年4月7日開催） / 第10回（令和4年4月8日開催）

第8回委員会で招致することを決定した参考人のうち7名と第6回委員会で招致することを決定した参考人1名に出席していただき、意見や知り得た事実について述べていただきました。

#### ◎2日間で出席した参考人

日にち	招致した参考人	どのような人物か
4月7日	4人	元熱海市役所職員（2名）、土石流が発生した土地の前所有者の関係人（2名）
4月8日	4人	元熱海市役所職員、元静岡県議会議員、熱海市長、土石流が発生した土地の前所有者に関係する現場責任者

### ●第11回（令和4年4月15日開催）

土石流発生箇所付近の土地改変行為に関係する7名の参考人招致すること、また8名を証人として委員会に出席を求めることを決定しました。

## ホームページから議会の視聴ができます！

熱海市議会では、市民の皆様が開かれた議会をより一層推進するため、インターネットによる本会議録画映像の配信をおこなっています。

過去5年分の本会議、質疑・一般質問の様子をご覧いただくことができます。今後も本会議の2日目と3日目に行う質疑・一般質問の審議状況を録画し、会議後、概ね1週間後に市議会ホームページ上にアップされますので、ぜひご覧ください！



## 次回 熱海市議会 令和4年6月 定例会



### 主な日程

6月9日(木)	10:00～	本会議（議案上程）
6月21日(火)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
6月22日(水)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
6月24日(金)	10:00～	観光建設公営企業委員会
6月27日(月)	10:00～	総務福祉教育委員会
6月29日(水)	10:00～	本会議（審議採決）

※日程は変更になる場合がございます。

## 議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、現在、議会の傍聴は極力ご遠慮いただくようお願いしています。

傍聴を希望される場合は、体調に御留意いただき、マスクの着用、受付での検温及び手指消毒に御協力をお願いします。

※傍聴を希望される場合は、間隔を空けての着席をお願いしています。座席数に限りがあるため、ご案内が難しい場合もございますので、あらかじめご了承ください。



次回の市議会だよりは、8月10日発行予定です。

<議会だより編集委員会>委員長：杉山 利勝 副委員長：橋本 一実  
委員：赤尾 光一・後藤 雄一・小坂 幸枝